

制限公開の先行利用について

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
朝岡誠

制限公開機能・OAアシスト機能説明会
2024年8月27日

JAIRO Cloudにおけるアクセス制限のユースケース

JAIRO Cloud利用機関において、公開、非公開以外のコンテンツファイル提供のニーズが増えつつある

- 機関リポジトリにおける論文査読対応
非公開状態で登録した論文及びエビデンスデータを、査読者等、第三者と共有したい（シークレットURL機能）
- 分野の慣習に基づいた論文、研究データ等の提供
条件を満たした利用者へのみ提供したい。（利用申請機能）

研究者、機関のニーズに対応したアクセスコントロールを提供
⇒多様な研究公開に対応することで研究成果公開を促進

当機能を利用してできること

- シークレットURL機能
 - 査読者、またはジャーナル等に対して非公開、またはエンバーゴ状態の論文及びエビデンスデータをシークレットURLを使って共有できる

- 利用申請機能
 - 論文およびエビデンスデータにアクセス制限を設け、条件を満たした利用者にのみ提供できる
 - 利用希望者はフォーマットに沿って利用申請を行うことができる
 - リポジトリ管理者は、申請者の申請内容をもとに、利用の承認、却下を行うことができる
 - 承認された利用希望者は、論文およびデータにアクセスすることができる
 - ワークフローに応じて、リマインドメールを送信することができる

先行利用の目的

- シークレットURL機能
 - 本機能は、ZenodoやDataverse等のセルフアーカイブ型汎用リポジトリの機能をもとに設計した機能
 - 図書館員によるアイテム登録を前提とする機関リポジトリにおいて、この機能を利用し、運用上の改善点を指摘していただくことで、実運用に向けて改修を行う
 - 機関リポジトリにおける査読対応は、北海道大学など数件の機関しか行っていない。先行利用していただく中で、運用フローを確立したい
- 利用申請機能
 - 本機能は、社会科学の研究データ共有慣習をもとに設計した機能
 - すでに大阪商業大学JGSSDDSが特別対応で利用しているが、本機能は利用者審査など、分野の専門性が高い運用が必要となる

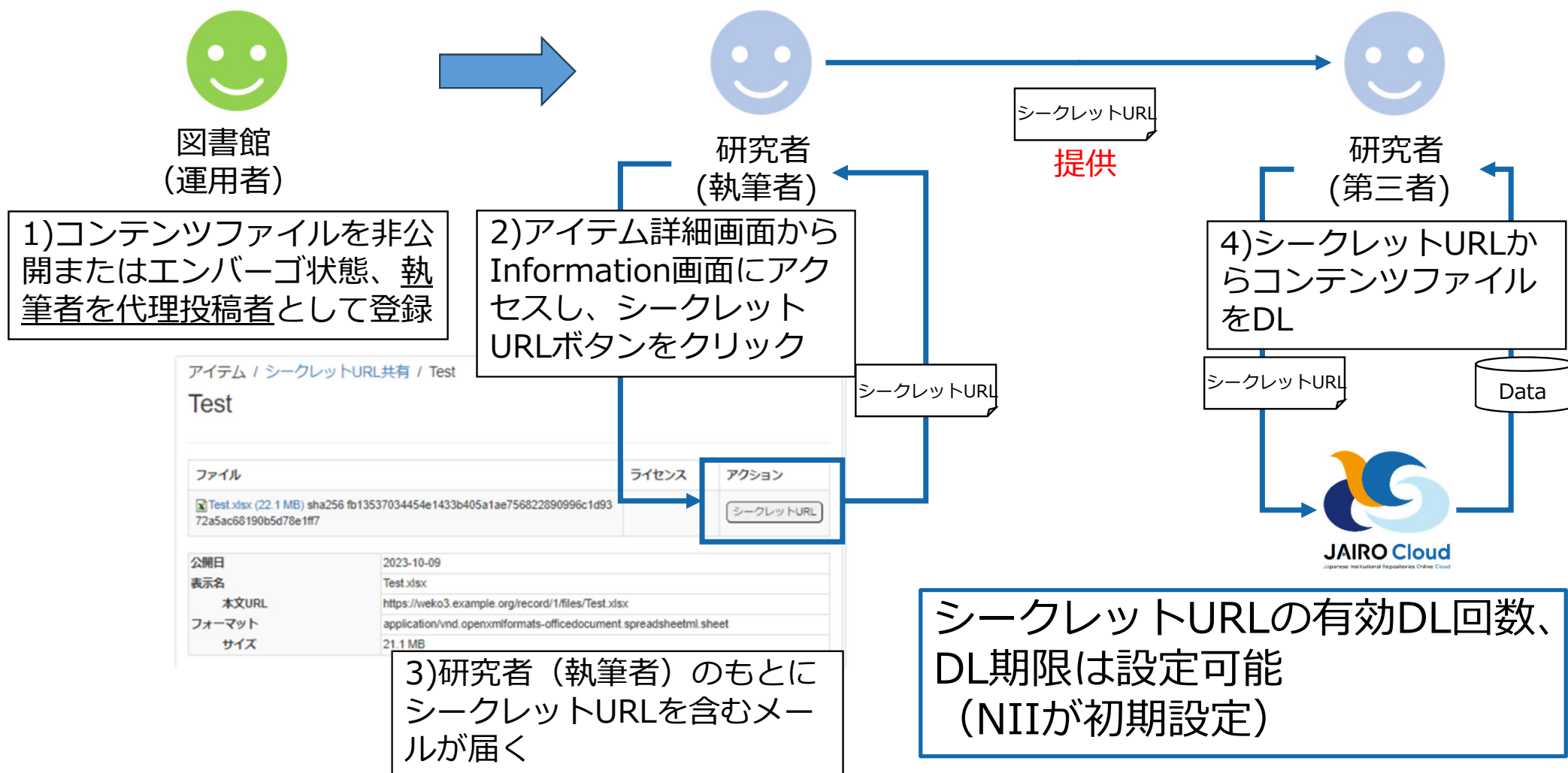
→本機能の先行利用は、研究データ提供のための体制を整えた機関に限定。
機能の運用のためにリポジトリ側が整えるべき体制を明確にした上で、
JAIRO Cloudで提供したい

当機能の対象コンテンツファイル

- 共通
 - 公開状態のアイテムに登録されたコンテンツファイル
- シークレットURL機能
 - 非公開、またはエンバーゴ状態で登録されたコンテンツファイル
 - 図書館員（リポジトリ管理者）がシークレットURLを取得する場合、取得したシークレットURLを適切に管理できること
- 利用申請機能
 - 特定の個人ではなく、条件を満たした利用希望者に提供可能であるコンテンツファイル
 - リポジトリ管理者が、利用希望者の申請内容をもとに提供するかどうかを判断できるコンテンツファイルであること
 - すべての申請に対して適切な期間中に承認の可否を判断すること

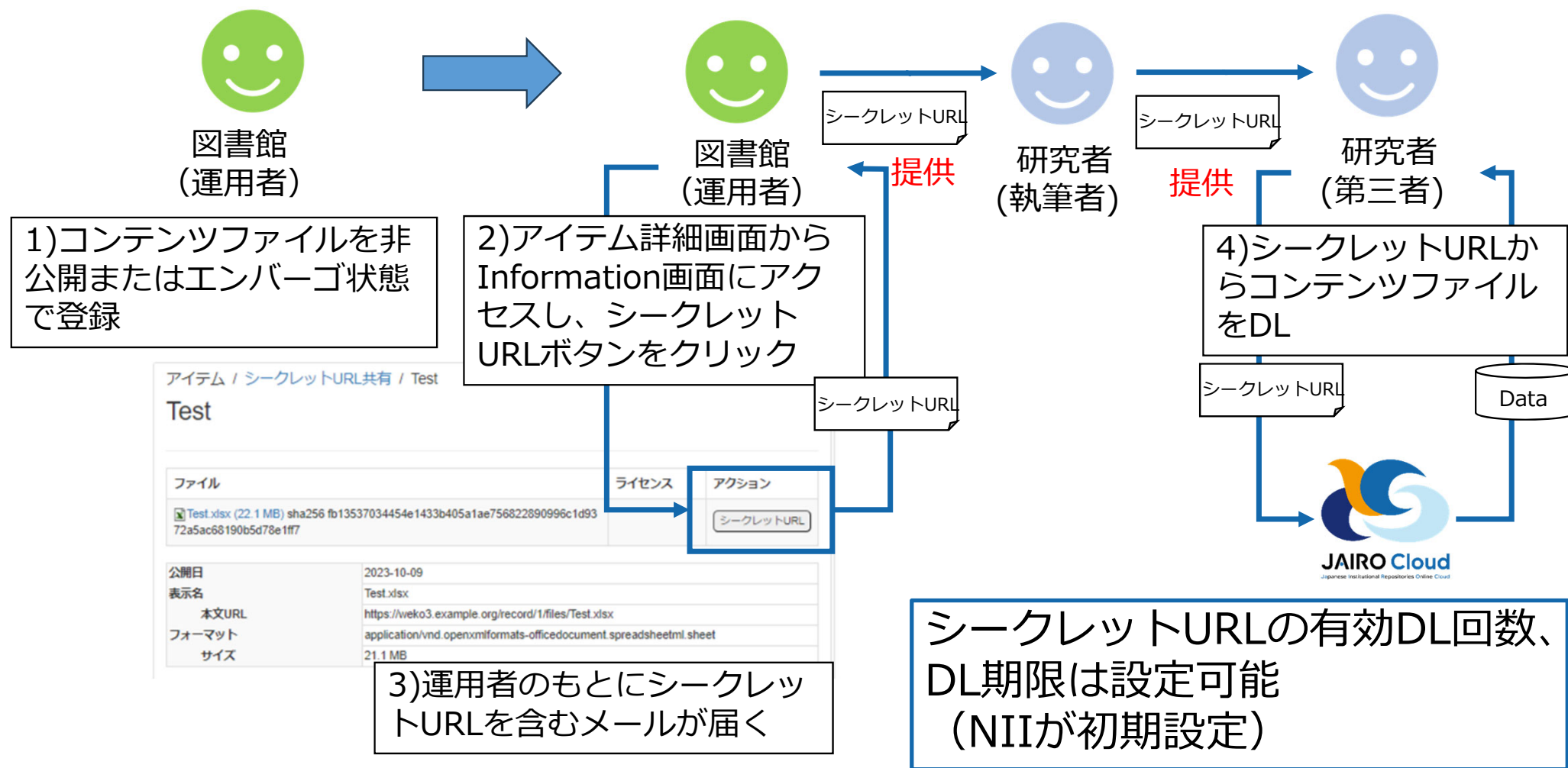
シークレットURL機能①

次回のアップデートで実装



シークレットURL機能②

次回のアップデートで実装



利用申請機能（アクセス設定）

来年度以降のアップデート
で実装予定



研究者
(執筆者)

1) 研究者は利用申請での公開にする
ように伝える



リポジトリ
管理者

2) 管理者はコンテンツのアクセスを
[制限公開]とし、申請ワークフロー
を設定してアイテム登録する



3) コンテンツファイルにアクセス制
限を付与
利用希望者は、申請ボタンをク
リックし、ワークフローを使って
申請を行う

日本版 General Social Survey (JGSS) 2019 ライ
wave3

https://w3-daishoda

名前 / ファイル	ライセンス	アクション
JGSS-2019LCS_v1.0.zip (19.6 MB) Restricted Access		📄 申請 ℹ️ Information

<https://jgssdds.repo.nii.ac.jp/records/2000098>

利用申請機能（コンテンツ提供）

来年度以降のアップデート
で実装予定



利用規約

日本版総合社会調査の実施とデータの公開は、調査に協力して下さる関係者と、大阪商業大学JGSS研究センターと、調査データの利用者の間に、信頼関係が成立していることで、実現しているものです。そのため、次の利用規約に同意をしていただきます。
違反した場合、利用承認を取り消すとともに、今後の利用停止など必要な措置を行います。

- 提供された調査データは、学術目的での二次分析にのみ利用します。調査対象者の秘密保護を図り、個々の対象者の特定に結びつく可能性のある形式の少数の事例研究やモックアップなどでの研究発表を行いません。
- 提供されたデータは、申請者だけが利用し、第三者には再提供しません。共同研究でデータを利用する場合、共同研究者全員が個別に利用を申請します。
- 二次分析の結果を公表する際には、JGSSホームページの「謝辞の掲載について」(https://jgs.daiichidai.ac.jp/data/del_acknowledgement.html)にある謝辞(Acknowledgement)をそのまま論文、報告書などに掲載します(英語・日本語のどちらか一方)。
- 報告書や論文等を発表した場合、JGSSデータダウンロードシステムに登録します。その際、当該論文等の電子ファイルをアップロードします。報告などで電子ファイルのアップロードが困難な場合、大阪商業大学JGSS研究センターに1部提出します。
- データを利用している間は、年度ごとに、JGSSデータダウンロードシステムから研究の進捗に関して利用報告を行います。その際、データ利用の年度も継続するか終了するかシステム上で選択します。
- 利用期限終了後は、調査データを削除します。

利用規約を印刷 次へ



リポジトリ管理者

5)リポジトリ管理者は、
申請の内容を確認し、
承認の可否を決める

アイテム
■ 日本版 General Social Survey (JGSS) 2019 ライフコース調査 wave3 - 利用報告 - 朝岡誠

公開日	2024-04-05
アイテムタイトル	日本版 General Social Survey (JGSS) 2019 ライフコース調査
言語	ja
アイテムタイトル	日本版 General Social Survey (JGSS) 2019 ライフコース調査
言語	en
登録者の情報	
氏名	朝岡誠
メールアドレス	asaoka@nii.ac.jp
大学・機関	国立情報学研究所
所属部門・部署	RCOS
役職	Assistant Teacher
電話番号	00000000
学会名	数理社会科学会
学会役職	Member
対応する利用申請のID	A-20240405-00001
対応する利用申請のID	A-20240405-00001
年次報告	aaa888
終了/継続	Stop

却下 保存 承認

データ名

データ名 日本版 General Social Survey (JGSS) 2019 ライフコース調査 wave3

申請者

所属部門・部署 RCOS

所属学会

氏名 朝岡誠

メールアドレス asaoka@nii.ac.jp

電話番号 00000000

役職 Assistant Teacher

役職 (その他)

大学・機関 国立情報学研究所

研究題目

研究題目 研究題目

研究計画

研究計画 研究計画

4)利用者は、申請ボタンから利用申請を行う
*非ログインでの申請可



研究者
(利用者)

6)利用者にメールで承認、却下の通知を行い、
利用者は承認メールに記載されたダウンロードURLからコンテンツ
ファイルをDL
* DL回数、期限の設定可

(English to follow)

国立情報学研究所
朝岡誠 様
大阪商業大学JGSS研究センター事務局です。
JGSSデータダウンロードシステムをご利用いただき、ありがとうございます。

下記の利用申請を承認しました。

申請番号: [REDACTED]
登録者名: 朝岡誠
メールアドレス: [REDACTED]
所属機関: [REDACTED]
研究題目: [REDACTED]
申請データ: [REDACTED]
申請年月日: [REDACTED]

次のリンクアドレスよりダウンロードすることができます。

<https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.ac.jp/records/2000098>

シークレットURL機能の先行利用機関

9月25日より先行利用機関を募集する（10月末まで）

利用機関 選定基準

- JAIRO Cloud利用機関であること
- 本機能を利用する機関は、利用希望者の窓口対応が必要
 - 機関内でシークレットURLの窓口を設置し、利用者への対応ができること

利用機関 選定後

- 2024年11月以降、準備ができ次第、先行利用を実施
 - ✓ NIIで先行利用のための設定を行う
 - ✓ 先行利用中の問い合わせはNIIによる特別対応になる
- 先行利用から3ヶ月を目処に利用機関から初回フィードバックを受け付ける
 - フィードバックを参考に改修を検討
 - 2025年度内に改修・アップデートを行い、シークレットURL機能の本運用開始を予定

シークレットURL機能 デモ

- 図書館員役アカウント asaoka_repo (m.asaoka.1977@~)
- 教員役アカウント wekodemo (wekodemo@)
- 図書館員がエンバーゴと非公開のコンテンツを登録
 - 代理投稿者として教員役アカウントを登録している状態

フロー GRDM_デフォルトフロー
作成日 2024-08-26 更新日 2024-08-26
Activity A-20240826-00003 作成者 m.asaoka.1977@gmail.com 更新者 m.asaoka.1977@gmail.com
ステータス ToDo

アイテム シークレットURI テストアイテム

ステップ

Start → Item Registration → Item Link → Identifier Grant → Approval

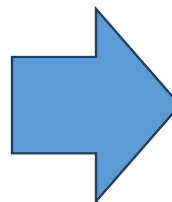
m.asaoka.1977@gmail.com → 作業済

+ メタデータ自動入力

Contributor

☐ This user
☒ Other user

Username wekodemo
Email wekodemo@gmail.com



アイテム

シークレットURI
シークレットURI テストアイテム

名前 / ファイル	ライセンス	アクション
非公開ファイル (187 B)		ダウンロード Information
エンバーゴファイル (187 B) Download is available from 2025/4/1.		ダウンロード Information

Item type デフォルトアイテムタイプ (フル) (1)
公開日 2024-08-20
タイトル シークレットURI テストアイテム
言語 ja
資源タイプ http://purl.org/coar/resource_type/c_ddb1
資源タイプ識別子 dataset
Publish Status Public Change to Private

戻る 編集 削除

お問い合わせ

- シークレットURL機能の募集について
- 本日紹介したシークレットURL機能について
- 本日紹介した利用申請機能について
- その他、JAIRO Cloudを使ったアクセス制限への要望

があれば wekosoftware@nii.ac.jp へご連絡ください！